

入学料・授業料

詳しくは
こちら

本学の入学料・授業料(令和7年度)は、以下のとおりです。

種 類	金 額
入 学 料	282,000円
授 業 料 (年額)	535,800円

免除・猶予制度

入学料及び授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる学生に対して本学では以下の制度を設けています。

(※学生本人の申請により大学内での選考を経て決定します。)

入学料の徴収猶予制度

経済的理由によって納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者に対し、入学料の徴収を一定期間猶予する制度です。

修学支援新制度

大学等における修学の支援に関する法律に基づき、日本学生支援機構が実施する給付奨学金の支給や授業料及び入学料の減免を受けることができる制度です。日本学生支援機構によって世帯の所得金額に基づき判定された支援区分に応じ、給付奨学金額や授業料等減免額が定められます。(外国人留学生は対象となりません。)

支援区分	入学料・授業料免除	給付奨学金(月額)	
		自宅通学者	自宅外通学者
第Ⅰ区分	全額免除	29,200円	66,700円
第Ⅱ区分	2/3免除	19,500円	44,500円
第Ⅲ区分	1/3免除	9,800円	22,300円
第Ⅳ区分 (多子世帯のみ)	全額免除	7,300円	16,700円

※支援区分は、日本学生支援機構の給付奨学金採用時に決定し、毎年、所得状況に基づき支援区分の見直しがあります。

日本学生支援機構奨学金は、高等学校等で申し込む「予約採用」と大学入学後、申し込みを行う「在学採用」があり、入学料・授業料免除は別途本学での申請が必要です。

修学支援新制度の詳細については、文部科学省のウェブサイトをご覧ください。

学生保険



本学で全員加入している「学生保険」は、学生生活を安心して送れるよう低廉な保険料で充実した補償を提供する保険です。

学生教育研究災害傷害保険

学生本人が正課中・学校行事中・課外活動中(クラブ活動含む)・通学中等に生じたケガが原因で治療が必要になった場合に補償する保険です。

学研災付帯賠償責任保険

学生が正課中・学校行事中・課外活動中(クラブ活動除くボランティア活動等)・通学中・施設移動中に誤って他人の物を壊したり、ケガをさせてしまった場合に生じた損害を補償する保険です。

奨学金及び支援制度



本学では、日本学生支援機構及び地方公共団体、民間育英団体の奨学金を取り扱っています。これらの奨学金は給付と貸与の2種類があり、募集についても、大学経由で行うものと奨学団体が直接行うものがあります。いずれも人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学困難な者が対象です。

また、本学独自で実施している海外留学等対象の給付型支援制度もあります。

日本学生支援機構奨学金(貸与)

奨学生の募集は原則として春、秋の年2回行います。

区 分	第一種奨学金(無利子貸与)		第二種奨学金 (有利子貸与)
	自宅通学者	自宅外通学者	
貸与月額	2万円・3万円・ 4万5千円から 学生が選択した額	2万円・3万円・4万円・ 5万1千円から 学生が選択した額	2万円から 12万円までの間で 1万円単位で 学生が選択した額

※給付奨学金受給中は、第一種奨学金の貸与月額が調整(減額又は増額)されることがあります。なお、本学では、約2,300名(約25%)の学生が日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けています。

※第二種奨学金の利率算定方法として、利率固定式と利率見直し方式があり、申し込みの際にいずれか一方を選択します。利率は3%が上限です。

日本学生支援機構奨学金(給付)

修学支援新制度をご覧ください。詳細については、在学している高等学校に確認するか、日本学生支援機構のウェブサイトをご覧ください。(https://www.jasso.go.jp/) 今年度より、多子世帯への授業料無償化も始まりました。

その他の奨学金(給付・貸与)

地方公共団体、民間育英団体の奨学金があり、応募資格及び受付時期は、それぞれ異なります。募集がある場合に学内掲示板及び本学ウェブサイトで通知します。

本学独自の支援制度(給付)

海外留学、海外で開催される国際会議等への参加及び本学が主催する短期海外語学研修等への参加のための奨学金や助成金を給付します。

学生表彰制度



本学では、学術研究活動、課外活動、社会活動などで優れた成果をあげた学生を対象として、学長から直接表彰を受ける「学生表彰」の制度があります。また、卒業又は修了した者で、本学の評価・名誉を高める功績があった者を対象とした「学長特別表彰」の制度もあります。



保健管理センター



学生・教職員の健康保持・増進と保健衛生に関する専門的業務を行う施設です。

保健管理センターには、専任教員(医療や相談を担当)や看護師のほか、カウンセラー等が配置され、健康診断や応急処置から相談事項(健康、精神的な悩み、対人関係など)まで対応します。また、各キャンパスでは、施設の一部を開放しており、各種計測器、トレーニング補助器具、リラクゼーション機器等を利用することができます。



学生支援センター



学生相談の対応、生活指導体制の充実、課外活動支援の企画・実施を行っています。

学生支援センターは、学生相談室とアクセシビリティ・コミュニケーション支援室によって構成されています。

学生相談室

各キャンパスの学生相談室に、専門の相談員を配置し、学生相談を受けています。修学上または学生生活上のことをはじめ、様々な悩みの相談を受け、解決の糸口を一緒に見出しています。必要に応じて学内外の関係者(機関)と連携し、学生生活をサポートします。

アクセシビリティ・コミュニケーション支援室

身体や発達等の障害のある学生の相談および支援を行う専門部門です。専任のスタッフが個々の学生の「困りごと」や「問題」に向かい合い、それらの解決・解消に向けて手づくりの支援を行っています。修学上の配慮や支援の調整、必要に応じて家族や教職員とも連携をはかって支援を行います。

また、本学のアクセシビリティの状況を発信するため、キャンパス毎にアクセシビリティ・マップ(バリアフリーマップ)を公開しています。本学ウェブサイトからご覧ください。

アクセシビリティ・マップはこちら



富山大学 学生寮「新樹寮」



新樹寮は、五福キャンパスと杉谷キャンパスの中間、緑に恵まれた閑静な場所にあります。

初めての一人暮らし、不慣れな地での学生生活…。新しい生活には不安がつきものですが、新樹寮なら入寮時から管理人がサポートします。

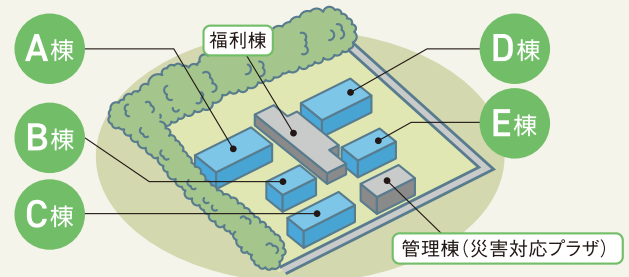
部屋の一例(一人部屋 広さ13㎡)

一人暮らしに必要な家具、家電を装備したワンルームマンション風の間取り。福利棟にはコインランドリーがあります。



新樹寮は7つの棟から成り立っています

管理棟(災害対応プラザ)・福利棟と5つの居住棟(A・B・C・D・E)



居室の設備

- ・エアコン
- ・机
- ・椅子
- ・ベッド
- ・キッチン(IH)
- ・冷蔵庫
- ・電子レンジ
- ・ユニットバス
- ・カーテン(各棟共通)

風呂・トイレ・洗面所

ユニットバスで、トイレ、洗面室がコンパクトにビルトイン。

ベッド

最多数のベッド(収納付)は使いやすく、調湿効果にも優れます。

ベッド下収納

キッチン

IHコンロを装備。汚れにくく、扱いやすくなっています。

冷蔵庫

机・椅子

エアコン

タイプ別態様

部屋タイプ	広さ(㎡)	室数	設備・備品等	寄宿料(共益費込み)
個室(A・B・C・D棟)	約13	272	机、椅子、収納棚、ベッド、ミニキッチン(IH)、電子レンジ、ユニットバス(トイレ付き)、冷蔵庫、エアコン	月額 15,000円
個室(E棟)	約20	30	机、椅子、収納棚、ベッド、ミニキッチン(IH)、電子レンジ、バス、トイレ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機	月額 20,000円
個室(E棟) ※本学に在学する姉妹との入居可	約25	6		月額 25,000円

詳細(入寮パンフレット)はこちら

